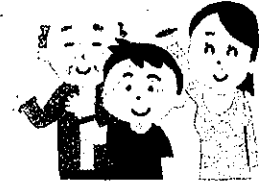


○小学生の部 最優秀作品



見守り活動に参加しよう

喜多方市立堂島小学校3年 ^{せきもと} 関本 ^{おりひめ} 桜里姫

夏休みに入るころ、私のひいばあちゃんが病院から退院しました。転んでけがをしてしまい、しばらく入院していたのです。とてもいたがって、泣いていたそうです。お母さんの実家のばあちゃんなので、あまり会えませんが、小さい時はたくさん遊んでもらいました。だから、その話を聞いた時はとても心配しました。でも、ばあちゃんは、リハビリをがんばって元気に家に帰って来ました。私は、ばあちゃんの元気な姿を見て安心しました。

しかし、一つだけ心配な事があります。それは、認知症です。何回も同じ事を言ったり「家に帰るから車で送ってくる。」と、昔の家に帰ろうとしたりします。私が、「ここがばあちゃんの家だよ。」と言っても、全く聞いてくれません。ばあちゃんは足が弱っているので、歩いて出て行ったりはしませんが、もしも、一人で歩いて行ったりしたら、大けがをするかもしれません。

私は、前に認知症のお年よりが川に落ちて亡くなったという話を聞きました。家族がねている夜中に出て行ってしまったら、だれも気付かないのでとてもきけんです。車にひかれたり、川やがけに落ちたりしたら、死んでしまうかもしれません。

私が住んでる地域にもお年よりの方は大ぜいいます。お年より

が増えれば、認知症の割合もふえていくと考えます。でも反対に、若い人や子どもの人数が減っているのも、お年よりがきけんにあう場面が多くなってしまおうと思います。

私は、地域のために何かできる事はないかと考えました。そして、ふだんから注意して周りに目を向ける事が大切だと感じました。

認知症の方は、ひと目では分からないと思います。でも、よく注意して見ていけば、「いつもと様子がちがうな。」と感じる行動があるかもしれません。小さな事でも家の人にほうこくしていれば、けがや事こなどのきけんが少なくなると思います。

また、自転車の運転にも十分に注意したいと思います。特に集落内はスピードを出さずに安全に心がけます。私のお父さんもお母さんも、集落内はゆっくり運転しています。

「小さい子がとび出してきたらあぶないから。」と、お父さんはいつも言っていました。

私だって小さい時は、きけんだとは分からずに道ろにとび出していたと思います。でも、近所の方や、安全に注意してくれたおかげで、大けがをしないですんだのです。子ども達はみんな、地域の方に見守られて元気に育っているのだなあと感じました。

だから今度は、私達が地域のお年よりを見守る番です。地域のみんなが協力して、認知症を少しでも理かひできれば良いのです。周りに目を向けて生活していけば、悲しい事こはなくなるはずです。私は小さな見守り隊として、地域の安全のためにがんばりたいです。

